

令和5年度

事業実績報告書

本部
北見老人ホーム
北寿園
川東訪問介護事業所

社会福祉法人めぐみ会

令和 5 年度 事業実績報告書

令和 5 年度事業計画では、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が令和 5 年 5 月 8 日から季節性インフルエンザと同じ「5 類」に移行することを受け、当法人としては当分の間、状況に合わせ新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ等の感染に備えた基本的な対策を継続することとしたところであります。

移行後の全国的な状況は感染者数と重症化率が減少傾向となっておりますが、北見老人ホームと北寿園の両施設では、新型コロナウイルス感染症に罹患する利用者、職員が発生しており、その都度迅速に感染拡大の防止に努め、クラスター化を防御することができており、感染者も重症化することなく回復に至っております。また、季節性インフルエンザについては感染者数が例年より多い状態で推移しておりましたが、両施設とも感染を予防することができました。

次に、令和 5 年度の経営状況ですが、老人ホーム会計の当初予算は△7,185 千円の赤字予算でしたが、物価高騰等への対応として北海道及び北見市から支援金（2,382 千円）が交付されたことや今年度も燃料油価格激変緩和措置が国において講じられたことなどにより黒字で決算できたところであります。

また、北寿園会計も当初予算は△16,236 千円の赤字予算でしたが、老人ホームと同様に北海道及び北見市からの支援金（1,890 千円）や国において電気料金の激変緩和措置が講じられたことと、看護職員の採用により看護体制加算の算定要件を満たしたこと、管理栄養士の 2 人体制により栄養マネジメント強化加算の要件を満たしたことや、定員 10 人の短期入所生活介護の稼働率向上等により介護保険事業収入の増を図ることができたことなど両会計とも黒字化でき、老人ホーム会計では 9,000 千円、北寿園会計では 15,000 千円を施設整備積立金に積立処理を行ったところであります。

次に、職員体制についてですが、令和 5 年度は介護現場における職員の充足及び介護福祉士を目指す外国人技能実習生の受入れと指導育成に取り組むとしておりました。施設利用者の皆さんが安心して生活できる環境の提供には、サービスを提供する介護スタッフの適正配置と資質の向上を図ることが必要であります。両施設とも配置基準を上回る職員数を配置しておりますが、退職予定者の補充に留意し、随時職員採用を行うとともに、職員定着率を上げる取り組みとして職員の皆さんが働きやすいと感じる職場形成に向け、職員面談を行い事務の効率化などに取り組みました。

また、職員の資質の向上を図り、多様化する利用者ニーズに応えるための職員研修では、複数名で参加できるオンライン研修やオンデマンド研修のメリットを活かし、外部研修に積極的に参加することができました。北見老人ホームが令和 4 年度より 9 件多い 13 件の研修受講。北寿園が令和 4 年度より 13 件多い 19 件の研修に職員がそれぞれ参加し、福祉職場における感染症対策、高齢者の権利擁護や虐待防止、身体拘束の廃止、認知症対応、口腔ケアマネジメント、接遇セミナー等々受講。内部研修にも多くの職員が参加し、必要な知識と技術習得の機会を確保しました。

【めぐみ会事業実績】

- ◎令和 5 年度の設備等更新事業として、北見老人ホームでは、厨房食器洗浄機、食器乾燥消毒保管庫を整備。北寿園では、車いす用体重計を整備
- ◎社会福祉法人めぐみ会理事候補者・監事候補者の選任
 - 任期満了に伴う理事候補者 6 名・監事候補者 2 名の選任
……第 1 回理事会（令和 5 年 5 月 26 日）
- ◎社会福祉法人めぐみ会理事及び監事の選任
 - 第 1 回理事会での承認された理事及び監事候補者を提案どおり選任
……第 1 回定時評議員会（令和 5 年 6 月 16 日）
- ◎社会福祉法人めぐみ会理事長・常務理事の選定、筆頭理事の指名
 - 定時評議員会での理事の選任を受け、理事長他を選定及び指名
……第 2 回理事会（令和 5 年 6 月 16 日）
- ◎予算執行状況及び決算見込みを理事会に報告。ほか中期収支（5 ヶ年）の見通し、北見老人ホーム電力会社の契約変更、規程（定款、規則、規程等）の書式等軽微な見直しについて説明
 - ……第 3 回理事会（令和 5 年 12 月 1 日）
- ◎社会福祉法人めぐみ会評議員選任候補者の推薦
 - 現評議員の任期が令和 6 年度社会福祉法人めぐみ会定時評議員会の終結の時に到来することから、次期評議員候補者を推薦決定
……第 4 回理事会（令和 6 年 3 月 1 日）
- ◎社会福祉法人めぐみ会第三者委員の選任
 - 令和 6 年 3 月 31 日の任期満了に伴う次期委員の選任
……第 4 回理事会（令和 6 年 3 月 1 日）
- ◎指定福祉避難所に関する協定書
 - 災害対策基本法改正で創設された指定福祉避難所に係り北見市からの協力要請に応じ、令和 5 年 8 月 25 日締結した協定書について報告
……第 4 回理事会（令和 6 年 3 月 1 日）
- ◎社会福祉法人めぐみ会給与規程、社会福祉法人めぐみ会非常勤・臨時職員・準職員就業規則及び社会福祉法人めぐみ会継続雇用職員就業規則の一部改正
 - 令和 6 年 2 月から交付される国の処遇改善支援補助金を経済対策支援手当として年度内に支給するための所要の改正
……第 5 回理事会（令和 6 年 3 月 15 日書面開催）
- ◎監事監査の実施
 - 監事による予算の適正執行・適正運営・決算等監査の実施（3 回）

令和5年度 社会福祉法人めぐみ会

理事会、評議員会開催及び監事監査実施状況

月別	理事会・評議員会の開催	監事監査の実施
4月		
5月	第1回理事会（5月26日） ・理事候補者の選任・監事候補者の選任 ・定時評議員会の招集・決算、事業実績報告他	第1回内部監査（5月15日） ・会計、決算
6月	第1回評議員会（6月16日） ・理事の選任、監事の選任 ・決算、事業実績報告 第2回理事会（6月16日） ・理事長の選定・常務理事の選定・筆頭理事の指名	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		第2回内部監査（11月6日）・法人、業務
12月	第3回理事会（12月1日） ・役員等賠償責任保険契約について ・各会計予算執行状況他	
1月		
2月		第3回内部監査（2月9日）・業務
3月	第4回理事会（3月1日） ・評議員選任候補者の推薦について ・第三者委員の選任について ・予算（案）、事業計画（案）他 第5回理事会（3月18日）書面開催 ・給与規程の一部改正について、非常勤・臨時職員・準職員就業規則の一部改正について、 継続雇用職員就業規則の一部改正について	
	: 上記理事会開催の他、毎月三役会議を開催	: 内部監査は、年3回実施。 : 監事の主な項目 法人理事会運営・施設運営・会計経理・資産管理・入所者処遇・災害事故防止・感染症予防等他

1. 会務の運営 (理事会議事録に関する事項)

◎令和5年4月1日～令和6年3月31日

開催年月日	開催場所	主 な 付 議 事 項
R5.5.26 (金) 第1回	北寿園会議室 理事6名中 5名出席 監事2名中 1名出席	議案第1号 社会福祉法人めぐみ会 理事候補者の選任について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会 監事候補者の選任について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会 定時評議員会の招集について 議案第4号 令和4年度 法人本部会計補正予算(案)について 議案第5号 令和4年度 北見老人ホーム会計補正予算(案)について 議案第6号 令和4年度 北寿園会計補正予算(案)について 議案第7号 令和4年度 法人本部事業実績報告について 議案第8号 令和4年度 北見老人ホーム拠点事業実績報告について 議案第9号 令和4年度 北寿園拠点事業実績報告について 議案第10号 令和4年度 法人本部会計収支決算報告について 議案第11号 令和4年度 北見老人ホーム会計収支決算報告について 議案第12号 令和4年度 北寿園会計収支決算報告について 報告第1号 令和4年度 法人各会計収支決算監事監査報告について 報告第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R5.6.16 (金) 第2回	北寿園会議室 理事6名中 全員出席 監事2名中 全員出席	議案第1号 社会福祉法人めぐみ会理事長の選定について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会常務理事の選定について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会筆頭理事の指名について
R5.12.1 (金) 第3回	北寿園会議室 理事6名中 全員出席 監事2名中 全員出席	議案第1号 役員等賠償責任保険契約について 報告第1号 令和5年度 本部会計予算執行状況及び決算見込みについて 報告第2号 令和5年度 北見老人ホーム会計予算執行状況及び決算見込みについて 報告第3号 令和5年度 北寿園会計予算執行状況及び決算見込みについて 報告第4号 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 報告第5号 令和5年度 社会福祉法人に係る北見市の実地指導監査結果の報告について 報告第6号 介護保険施設等指導監査要綱に基づく北海道オホーツク総合振興局による実地指導監査結果の報告について 報告第7号 監事監査の結果報告について

<p>R6.3.1 (金) 第4回</p>	<p>北寿園会議室 理事6名中 全員出席 監事2名中 全員出席</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人めぐみ会評議員選任候補者の推薦について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会第三者委員の選任について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会介護保険給付サービス利用者負担軽減に関する規程の一部改正について 議案第4号 令和5年度 北見老人ホーム会計補正予算(案)について 議案第5号 令和5年度 北寿園会計補正予算(案)について 議案第6号 令和6年度 本部事業計画(案)について 議案第7号 令和6年度 北見老人ホーム拠点事業計画(案)について 議案第8号 令和6年度 北寿園拠点事業計画(案)について 議案第9号 令和6年度 本部会計予算(案)について 議案第10号 令和6年度 北見老人ホーム会計予算(案)について 議案第11号 令和6年度 北寿園会計予算(案)について 議案第12号 令和6年度 業務委託等の契約継続について 報告第1号 監事監査の結果報告について 報告第2号 指定福祉避難所に関する協定書について 報告第3号 令和6年能登半島地震に係る対応について</p>
<p>R6.3.18 (月) 第5回</p>	<p>書面開催</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人めぐみ会給与規程の一部改正について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会非常勤・臨時職員・準職員就業規則の一部改正について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会継続雇用職員就業規則の一部改正について</p>

(評議員会議事録に関する事項)

◎令和5年4月1日～令和6年3月31日

開催年月日	開催場所	主 な 付 議 事 項
<p>R5.6.16 (金) 第1回</p>	<p>北寿園会議室 評議員7名中 6名出席 理事3名出席 監事2名出席</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人めぐみ会・理事の選任について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会・監事の選任について 議案第3号 令和4年度 法人本部事業実績報告について 議案第4号 令和4年度 北見老人ホーム拠点事業実績報告について 議案第5号 令和4年度 北寿園拠点事業実績報告について 議案第6号 令和4年度 法人本部会計収支決算報告について 議案第7号 令和4年度 北見老人ホーム会計収支決算報告について 議案第8号 令和4年度 北寿園会計収支決算報告について</p>

令和5年度 事業報告

養護老人ホーム 北見老人ホーム

1.実施事業

養護老人ホーム 北見老人ホーム 定員130名
 うち北見老人ホーム指定特定施設入居者生活介護事業所 定員 40名
 訪問介護事業所 川東訪問介護事業所

2.事業の運営

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、当施設においても新しい生活様式とともに以前の生活を取り戻せるよう、理念、基本方針に沿って通常のサービス提供に努めた。

また、物価高騰の影響が長期化している現状を踏まえ、必要な場合は代替措置を講じるなど、創意・工夫により利用者サービスの質の維持に努めた。緊急時においても事業が継続できるよう連携体制の充実を図り対応力を強化した。利用者処遇については、心身の健康を保つとともに生きがいある日常生活が送れるよう支援し、要介護状態等、日常生活で介護が必要になった場合は、外部サービス利用型特定施設において安定したサービスの提供に努めた。

3.利用者状況

【年齢構成】

(令和6年3月31日現在)

	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男	0	2	4	6	11	5	5	1	1	35	82歳6ヵ月
女	1	1	6	13	24	18	20	8	4	95	85歳11ヵ月
計	1	3	10	19	35	23	25	9	5	130	85歳

最低年齢63歳（女性）、最高年齢106歳（女性）。

措置状況：北見市121名、美幌町7名、大空町1名 音更町1名。

【利用者在園期間】

(令和6年3月31日現在)

6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	合計	平均利用 期間
23	32	33	20	13	6	3	0	130	5年6ヶ月

【入退所状況】

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	3	1	3	0	2	3	2	4	6	1	0	2	27
退所	0	1	0	0	0	1	1	6	1	1	1	0	12
入院	3	1	3	9	13	7	5	4	2	4	5	2	58
退院	2	1	1	5	7	7	2	1	6	3	3	2	40
転院	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
死亡	2	1	0	2	3	1	2	1	0	0	0	0	12

退所理由：施設替え4名、入院継続7名、家庭復帰1名

死亡理由：施設で看取り1名、病院で死亡11名

【介護度状況】

(令和6年3月31日現在)

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
55	15	2	34	11	7	4	2	130

要支援、要介護度状況に大きな変動なし。

【生活管理指導短期宿泊事業】

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	1	2	1	1	2	2	1	2	2	3	2	19
利用日数	0	10	33	31	31	33	44	30	38	62	44	32	388
利用収入	0	34,290	114,300	106,299	106,299	113,157	150,876	102,870	130,302	212,598	150,876	109,728	1,331,595

利用理由：緊急保護4名の内1名待機者、体験利用2名入所

家族間での虐待案件が増えており、緊急保護での受入れは情報が少なく課題やリスクもあるが、関係機関と協力しながら丁寧な対応で落ち着いた生活を送っていただいた。

4.各委員会活動

【感染防止対策委員会】(毎月1回)

嘱託医・看護師を中心に利用者の健康管理に努め、各種健康診断及び定期診察、定期通院を行うなど、失病の予防に努めた。感染症予防対策は、ノロウイルス、インフルエンザともに感染者なし。新型コロナウイルスは11月に利用者1名、職員2名、3月に職員1名、利用者1名罹患したが、嘱託医の指示を仰ぎながら職員一丸となって迅速な対応、情報共有に努め、他利用者への感染を回避することができた。

(利用者定期健診の実施)

- ・ 予防接種 インフルエンザR5.11.8
新型コロナウイルスR5.9.27 (6回目)
- ・ 結核検診 R5.9.26
- ・ 健康診断 R5.7.1 (1回目) 12.9 (2回目)

(職員定期健診の実施)

- ・ 予防接種 インフルエンザR5.11.8
新型コロナウイルスR5.9.27 (6回目)
- ・ 結核検診 R5.9.26
- ・ 健康診断 R5.4.17~4.25 (1回目) 12.11~12.15 (2回目)
- ・ 腰痛検診 R5.8.1~8.31 (1回目) R6.2.1~2.29 (2回目)

【事故防止対策委員会】(毎月1回)

昨年度(11件)と比較し1件減少。主に下肢筋力低下による転倒骨折事故であったが、昨年に続き誤薬が発生した。直ちに事故の詳細を検証した結果、複数の職員の確認不徹底と判明し、個人が遵守すべき事項と組織全体で取り組むべき課題を整理し、確認作業を習慣化できるよう取組を図った。利用者は幸い健康状態に影響なく経過した。ヒヤリハットでは、アレルギーを持つ利用者への提供にて、介護、栄養、調理係との情報共有を徹底し再発防止に努めることとした。

《オホーツク総合振興局・北見市への報告件数とその内容》

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	3	9
誤薬	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ひやり・ほっと	0	2	0	1	0	3	0	2	0	1	1	1	11

【身体拘束・虐待防止委員会】(年3回)

利用者の人権尊重、プライバシー保護、身体拘束廃止、虐待防止について、日常的に行われているケアの中で精神的、身体的ストレスを与えていないか研修や会議の場で協議し、自分達の支援を振り返ることで身体拘束・虐待防止への意識を高めた。虐待とは、利用者に対する不適切な言動や、心を傷つけるもの、また犯罪行為となるものまで幅広いものと捉え、早期発見と虐待の芽を摘み取るため、チェックシートを活用した取り組みを行った。

【処遇検討委員会】(年8回)

利用者処遇は、定期的にブロック会議を開催し、適切な援助方法を共有しながら同じ視点で取り組むよう努めた。要望や意見は随時面談し、意向に沿うよう努力した。家族との関わりは、面会緩和で交流の場を提供することができた。状態変化が見られた時は、過不足なく家族へ情報提供を行った。日常業務の課題や支援方法は、より効果的かつ効率的な業務となるよう随時見直しを行った。利用者の安全確保とリスク管理を重点に、自己評価を行い自己覚知と接遇力の向上に努めた。

【行事レク委員会】(年26回)

年間行事計画に沿って、規模や時間を縮小しながらも創意工夫し、利用者の生活作りに努めた。行事の際には、季節に合わせた飾り付けを行い癒しの空間を作った。お祭りをイメージした縁日やリフレッシュを目的としたレクリエーションでは多く方に参加いただき、秋にはイベント見学やショッピングへ外出支援を実施した。余暇活動では平日の午後にプロジェクターによる上映会を開き大画面で歌や音楽を楽しんでいただいた。

【研修委員会】(年17回)

専門的な知識や技術など必要なスキルを取得するため、積極的に研修会に参加し、多様化するニーズに的確に対応できるよう職員の資質向上を図った。Zoom研修ではグループ討議を展開し、自身のスキルアップへ意欲的な姿勢が見られた。内部研修では、身体拘束・虐待防止について多くの職員が動画視聴できた他、感染症の実践や養成員による緊急時の対応等、実りの多い全体研修へ繋ぐことができた。

《外部研修》

	視聴期間	研修名	参加者
1	R5.5.11	認知症よくなりますヨ	看護職員1名
2	R5.5.31	組織で職員を守るハラスメント(管理者編)	介護課長

3	R5.6.7	新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけ変更に伴う対応説明会	介護課長 看護係長
4	R5.7.1～ 7.31	メンタルヘルスマネジメント（管理者編）	介護課長
5	R5.7.26～ 8.18	高齢者虐待防止推進研修会	介護課長 介護係長
6	R5.9.22	カスタマーハラスメントに遭わない接遇の在り方	介護職員1名
7	R5.10.10～ 11.30	第1回認知症対応 接遇セミナー	施設長 介護職員2名 看護職員1名
8	R5.10.18	感染症予防研修会	看護職員1名
9	R5.11.7	給食施設における母管理体制の現状	栄養士 調理員1
10	R5.11.14 R6.2.27	第1回 養護老人ホーム研修会	介護職員1名
11	R5.12.22	高齢者虐待の本人支援、養介護者支援について	介護職員1名
12	R6.1.17	高齢者の虐待防止に向けて	介護職員1名
13	R6.3.11	養護老人ホームブロック代表者会議の傍聴	副施設長 介護課長

《内部研修》

	実施日	研修名	参加者
1	R5.4.21～ 7.13.14	新人オムツ、口腔ケア研修会	介護職員10
2	R5.6.6	非常食の提供過程と停電時の発電機使用方法の確認	栄養士 調理員7
3	R5.6.21	感染対応研修会（机上訓練）	介護課長 介護係長 サービス提供責任者 介護職員9 看護係長 看護職員1
4	R5.6.27～ 7.12	ポジショニング研修	介護職員17
5	R5.8.2	救急法	介護職員10 看護係長 看護職員2
6	R5.9.28	調理の基本と副食の作業工程、手順、味付けの確認	栄養士 調理員7
7	R5.10.4	感染対応研修会（実践編）	介護職員11 看護係長 看護職員2
8	R5.10.5～ 10.27	コンプライアンス研修 高齢者虐待の防止／身体拘束の廃止	サービス提供責任者1 介護職員4 看護職員1
9	R5.12.20	身体拘束／高齢者虐待防止について	庶務.会計係3 介護係19 栄養.調理係8

【口腔ケア委員会】（年3回）

誤嚥性肺炎予防を目的とし口腔ケアの知識や技術を習得するため、新職員採用毎、基本と実践を交えた研修会を実施し統一した支援ができるよう努めた。総義歯の方は口腔内が比較的清潔に保たれているが、認知により意思疎通が図れない方では拒否や開口保持が難しくケアできない利用者も多く見られた。口の機能が低下すると意欲の減退や更なる認知機能の低下に繋がることから、不安や苦痛なく受け入れてもらえるよう提供体制の工夫に努めた。

【排泄委員会】（年5回）

定時のおむつ交換とともに排泄サイクルに合わせた随時誘導と介助を行った。排便の時間や周期を収集し自然排便を促したり薬で調整を行い快適に過ごせるよう努めた。尿量測定で個々に応じたおむつを選定し尿漏れを防ぎ皮膚トラブルの軽減を図った。臥床時の体位交換や適切なポジショニングで筋緊張の緩和、褥瘡予防に繋げた。状態変化が見られた時は、各居室に設置したホワイトボードを活用し、職員間で情報を共有し個別ケアに努めた。

【給食運営会議】（毎月1回）

保存食、食品の温度管理、記録を確実にし、食中毒を予防し衛生管理に努めた。利用者の食習慣や嗜好が食事に反映されるよう嗜好調査を行い、行事食や季節感のある食事の提供に努めた。一堂に会しての食事は12月から月1回誕生会を再開した。また、災害を想定した非常食提供訓練や小型発電機の使用方法について学習会を実施し有事に備えた。食品価格高騰による対応は、代替え食の置き換えや冷凍食品の採用、調理法や献立の工夫により食の満足度を下げないよう努力した。

〔年間行事食〕

7月	土用の丑	1月	新年祝い膳／鏡開き
9月	敬老祝い膳／秋のお彼岸	2月	先故者追悼お斎
12月	クリスマス膳／年越し膳	3月	ひな祭り／春のお彼岸

その他、毎月1回誕生祝食の提供した。

【防火防災対策委員会】（毎月1回）

安全管理体制の確立を図り、地震、火災、天災等非常事態に備え、施設内外諸設備の点検を定期的に行い、災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう年間計画に沿って避難訓練を実施した。実践を通して職員、利用者ともに防災意識の向上に努めた。

実施日		訓練内容
1	R5.7.25	地震発生後3階西トイレより出火（夜間想定）
2	R5.8.25	地震発生後4階給湯室より出火（夜間想定）
3	R5.9.29	地震発生後1階調理室より出火（夜間想定）
4	R5.2.28	通報訓練 北見老人ホームより火災が発生

6. 実地指導について

令和6年1月18日、オホーツク総合振興局より実地指導を受けたが、特に改善指導等はなかった。

7. 苦情対応

施設に対する意見や苦情を幅広く伝えられるよう意見箱を設置し、要望の解決に努めた。集団生活で感じる不安は丁寧な聞き取りを行い、柔軟かつ迅速な対応に努めた。長い期間続いた自粛生活で感じたストレスは規制緩和でかなり軽減された。今後も利用者に寄り添った支援を心掛けていく。また、第三者委員会及び施設外の苦情受付機関への苦情申し立てはなかった。

8. 成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害等によって物事を判断する能力が十分でない利用者については、本人の権利を守る援助者を選ぶことで法律的に支援している。状態変化が見られた時は入院調整や施設替えなど、後見人と連携しながら利用者が抱える課題に取り組んでいる。

制度利用者：成年後見人5人 保佐人1人

9. 実習生の受け入れ

介護福祉士養成校からの実習生は希望者がいなく受け入れできなかったが、技術や知識を伝えることにより、相互に補完し合いながら良い相乗効果が期待できるため、今後も学生に限らず職場体験についても積極的に受け入れ、介護の仕事の魅力に触れてもらいながら福祉を担う後継者の人材育成に繋げていきたい。

10. ボランティア・地域との交流事業

感染症拡大防止のため、施設訪問や奉仕の受け入れはできなかったが、5月から開始された早朝ラジオ体操おはよう会に参加することができた。実施にあたり、マスクの着用や人と人との距離の確保など地域の方に協力いただき最終日を迎えることができた。今後も地域の一員として新しい生活様式を踏まえ交流の機会を検討していく。

11. 施設整備

施設運営に必要な設備機器の更新及び修理、工事について、複数業者による見積比較、自主修繕など優先順位を踏まえ実施した。

- ・介護浴槽（特浴）修繕 / 食器乾燥消毒保管庫 / 食器洗浄機 / 回転窯（2台）
非常用照明器具（R4年度指摘箇所他）

12. 広報

利用者に分かりやすく施設行事やお知らせを掲示物や施設だより、各階懇談会を介して情報発信を行うとともに、施設の活動状況等ホームページの更新をこまめに行い、対外的に情報公開を行った。家族への情報発信として「陽だまり」の発行（年3回 北寿園と共同発行）

13.職員配置

(令和6年3月31日現在)

	養護老人ホーム		特定施設入居者生活介護		川東訪問介護		合 計
	基準値	職員配置	基準値	職員配置	基準値	職員配置	
施設長	1	1	1 同一敷地内他 事業所と兼務可	1 兼務	1 同一敷地内 他事業所と兼務可	1 兼務	1 兼務
副施設長	0	1 主任生活 相談員兼務	0	1 生活相談員兼務	0	1 兼務	1 兼務
主任生活相 談員	2	1		—		—	1 兼務
計画作成者		—	1 養護主任生活相談 員と兼務可	1 兼務		—	
生活相談員	3 30 : 1 特定と兼務可	4	1 100 : 1 養護と兼務可	4 1 : 兼務		—	4 兼務
サービス 提供責任者		—		—	1	1	1
支援員	6 15 : 1	12 兼務 パート1	4 10 : 1	12 兼務	1.5 サービス提供責 任者合わせて2.5 以上	12 兼務	12 兼務 パート1
訪問介護員		—		—			2 パート3
看護師	2 100 : 1	3		—		3 訪問介護員兼務	3 兼務
栄養士	1	1		—		—	1
調理員	実情に応じた 適当数	4 パート4		—		—	4 パート4
事務員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
介助員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
用務員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
医 師	1 健康管理に必 要な数	1 非常勤		—		—	1
合 計		常勤30 パート5 非常勤1		兼務19		兼務17 常勤3 パート3	常勤(兼務)33 パート8 非常勤1

養護老人ホーム 北見老人ホーム
川東訪問介護事業所（介護予防）

1.事業の運営

＜外部サービス利用型特定施設における訪問介護事業＞

外部サービス利用型特定施設と契約を結んだ要介護、要支援状態にある利用者に対し、入浴、排せつ、食事、更衣等のサービスを基本に、可能な限りニーズに応えられるようサービスの提供に努めた。養護老人ホームの支援員が顔なじみの訪問介護員として関わることで、個々の生活状況に合わせてスムーズに支援することができた。年々高齢化や障害の重度化により支援内容が多様化していることは、各担当者間で対策を検討し情報の共有を図った。

2.利用者状況（介護度）

（令和6年3月31日現在）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
18	9	7	4	2	40

3.提供日数

（令和6年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外部利用型 特定施設	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
合計	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

3.実践報告

- (1) 利用者の意向・意思を尊重し、利用者本位の介護サービスに努めた。
- (2) ニーズの把握や的確なアセスメントで質の高い訪問介護計画を策定した。
- (3) サービス担当者会議において他職種と意見交換し、状態把握に努めた。
- (4) 身体介助の他、生活全般にわたる支援について、訪問介護計画に沿って対応した。
- (5) 提供しているサービスが適正かモニタリングを実施した。
- (6) 状況変化に合わせて支援内容の変更を行った。

4.サービス内容の質の確立

- (1) 訪問介護支援の役割を認識、理解し、円滑にサービスが提供できるよう努めた。
- (2) 個人情報保護と守秘義務の遵守に努めた。
- (3) 体調の変化、身体の変化に留意し、事故に繋がらないよう努めた。
- (4) 提供したサービス内容を自己評価し、結果に基づき業務改善に努めた。
- (5) 養護老人ホームの職場研修において、介護技術向上とサービスの充実を図った。
- (6) 虐待防止と身体拘束の適正化の強化に努めた。

令和5年度 事業報告

特別養護老人ホーム 北寿園

1.実施事業

特別養護老人ホーム 北寿園 定員 90名
 短期入所生活介護 定員 10名

2.事業の運営

介護保険法令の趣旨に従い、利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るように支援した。入浴、排泄、食事等の介護、健康管理・相談等の精神的ケア等を提供した。

3.利用者状況

【年齢構成】

(令和6年3月31日現在)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均年齢
男	0	1	5	5	7	7	2	0	27	85歳11か月
女	1	1	5	6	16	17	10	3	59	89歳8か月
計	1	2	10	11	23	24	12	3	86	88歳6か月

※最少年齢：69歳8か月 ※最高年齢：101歳

【介護度状況】

(令和6年3月31日現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
0	1	24	40	21	86	3.95

※昨年度の平均要介護度は、「3.97」

【入退所状況】

(令和6年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	3	4	1	1	1	3	2	3	3	2	1	0	24
退所	4	0	1	1	1	4	4	2	3	0	0	4	24

※退所理由－死亡23名（内 施設内看取り23名）・入院退所1名

【利用者住所期間】

(令和6年3月31日現在)

利用期間	～6か月	～1年	～2年	～3年	～5年	～10年	～15年	～20年	合計	平均利用期間
合計	13	13	16	9	19	10	4	2	86	3年3か月

※ 最長利用期間 15年8か月

4.各種委員会活動

【感染症対策委員会】(毎月1回)

令和5年度も、新型コロナウイルスの感染予防の知識、体制の整備、対応方法などの重要性と利用者の安全な生活を守る意識を再確認するとともに、新型コロナウイルス対策マニュアルを整備した。施設内での新型コロナウイルス感染症の発症があったが、最小限の感染で終息したため、引き続き感染予防対策に努めたい。その他のインフルエンザやノロウイルス等の感染症の発生は予防できた。

(新型コロナウイルスの予防対策)

利用者

- ・家族等との制限付き面会
1週間に1回、面会時間は1時間、4名までの制限付き面会を行った。
感染の状況により、会議室での短時間の面会やガラス越しの面会、オンライン面会を実施した。差し入れ等は玄関で受け渡しを行った。
- ・定期通院以外の外出は、なるべく控えてもらう
- ・館内の掃除 → 消毒レベル 2
- ・新規入所者、退院者は5日の居室隔離

職員

- ・マスク着用、手指衛生の徹底
- ・ケアグループごとに分散して休憩

業者

- ・修理等で来園の場合は、玄関で検温を行い入館

(他の感染予防対策)

- ・入所利用前の診断書提出＝利用者
- ・結核検診、健康診断の実施(5月～7月)＝利用者・職員
- ・インフルエンザワクチンの接種(10月)＝利用者・職員
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種(6回目－8月・7回目－2月)＝利用者
- ・腰痛健診(1回目－5月・2回目－10月)＝職員

【事故防止対策委員会】（毎月1回）

利用者が安心、安全に生活できるよう、「事故防止・軽減」の視点で、「気づきの組織づくり」を進めてきた。環境の整備、利用者の特性を理解し、行動を予測できる視点を持つこと、また、認知症の理解に取り組み、事故の防止と軽減を図った。

《オホーツク総合振興局・北見市への報告件数とその内容》

（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひやり・はっと	5	13	11	25	15	7	13	6	18	6	8	18	145

【身体拘束廃止・虐待防止検討委員会】（毎月1回）

身体拘束は著しく人権を侵害することから、平成14年度より禁止しており、身体拘束廃止委員会、虐待防止検討委員会で、虐待と身体拘束につながる介護がないか検証を行った。特に虐待防止に視点を置き、職員の言葉遣いや、利用者に対する対応（無視することは無いか、ナースコールの対応は適切か等）を中心に虐待防止、身体拘束廃止に取り組んだ。

【褥瘡防止対策委員会】（毎月1回）

利用者の栄養状態や、疾病、生活環境が褥瘡の大きな原因となっています。好発部位の観察を密に行い、ブレーデンスケール表を活用し、分析研究に努め、リスクを抱える利用者の褥瘡防止や早期発見に努めた。

【認知症ケア推進委員会】（年6回）

認知症を正しく理解するため、病気の理解・BPSD（認知症の行動・心理症状）への対応方法等の研究を進めた。接遇チェック表を活用し、認知症による生活障がいに応じた対応を検討し、安心安全な生活を提供できるように取り組んだ。

【医療的ケア推進委員会】（毎月1回）

看護職員と介護職員の連携による「医療的ケア指針」に基づき、介護職員が喀痰吸引を実施した。頻回に痰吸引が必要な対象者はなく、予防的対応として、誤嚥予防のために、食前に嚥下体操を励行し、毎月嚥下チェックを行った。

※ 喀痰吸引対象者 23名 喀痰吸引従事者（介護職員） 24名

【口腔ケア委員会】（毎月1回）

令和5年度より、歯科往診診療を再開した。口腔機能維持を目標に、歯科医師・歯科衛生士の指導の下、利用者個々に合わせた、口腔ケアを実施した。

重点的な口腔ケアを実施する対象者を抽出し、再評価することで、適切な口腔ケアを行えるよう取り組んだ。

※ 令和5年度 口腔ケアマネジメント計画

口腔ケア推進のための課題対応

「入所者の口腔状況・ケアの必要性を評価する」

口腔ケアのための実施目標

「口腔ケアに関するアセスメントを定期的を確認する」

「利用者様の口腔内の確認と個々の状態に合わせた口腔ケアを実施する」

重点的な口腔ケア対象者抽出数 10名

【研修委員会】（年2回）

外部研修については、新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン研修に参加した。内部研修については、各ケアグループで行った。

《外部研修》

実施日		研修名	参加者
1	R5.6.7	ライブ配信（オホーツク総合振興局） 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけ変更に伴う対応説明会について	介護課長 庶務係長
2	R5.7.28	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） R5年福祉職場における感染症対策研修	医務係長
3	R5.8.24	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 看護師専門員研修	看護職員
4	R5.8.30	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 介護職員のための医療の基礎知識講座	介護職員 1名
5	R5.8.21・9.28	ライブ配信・オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 介護職員専門研修（北見）	介護職員 1名
6	R5.9.6・9.25	ライブ配信・オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 新任介護職員研修（北見）	介護職員 1名
7	R5.9.20	（一般社団法人日本ユニットケア推進センター） 特別企画in北海道「ユニットケアとは」	介護職員 2名

8	R5.9.22	(釧路・十勝・オホーツク地区老人福祉施設協議会) 道東三地区老施協研修会	管理者 庶務係長
9	R5.9.29	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 北海道高齢者虐待防止推進研修会	介護係長 介護職員
10	R5.9.11～9.13 10.3・10.10～ 11・11.2	ライブ配信・実地研修（北海道社会福祉協議会） ユニットリーダー研修	介護職員 1名
11	R5.10.5.	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 認知症ケア特別研修Ⅰ	介護職員 1名
12	R5.10.18	（オホーツク総合振興局） 令和5年度感染予防研修	介護職員 1名
13	R5.10.24	オンデマンド視聴（オホーツク地区老人福祉協議会） 接遇セミナー「丁寧な言葉使いを根付かせる取り組み」	介護職員 1名
14	R5.10.27	オンデマンド視聴（北海道社会福祉協議会） 福祉サービスのリスクマネジメントと求められる背景	介護職員 1名
15	R5.11.7	（オホーツク総合振興・北見保健所） 令和5年度 給食施設従業者研修会	栄養係長
16	R5.12.21	オンデマンド視聴（北見市介護福祉課） 認定調査（現任）研修会	管理課長 介護係長 庶務係長
17	R6.1.17	オンライン視聴（北海道保健福祉部福祉局） 令和5年度 高齢者の権利擁護を考える集い 高齢者虐待 防止に向けて	介護職員 2名
18	R6.3.21	オンライン視聴（オホーツク地区老人福祉協議会） 令和6年度より実施義務化となる口腔衛生管理体制の取り 組みと施設における口腔ケアマネジメント	看護職員 1名
19	R6.2.6～7 R6.2.13～14 R6.3.20	（特定非営利活動法人NPO社会福祉法人） 令和5年度 認知症介護実践研修	介護職員 1名

《内部研修》

	実施日	研修名	参加者
1	R5.8.27～30	「BPSDを知る」「環境整備について」	27名
2	R5.9.26～30	「新型コロナウイルス感染症対策の対応について」	37名
3	R5.10.27～31	「イライラ・怒りと上手に付き合うアンガーマネジメント」 「怒りをコントロールする6つの方法について」	28名

4	R5.11.22～30	緊急時の対応（夜間想定）	30名
5	R5.12.25～28	「自歯がある方の正しい歯磨きの仕方について」	28名
6	R6.2.25～29	「事故防止のために行う身体拘束は、多くの弊害、虐待に繋がってしまうリスクがある」	29名
7	R6.3.21～29	「自歯のある口を開ける事が難しい方の正しい歯磨きの仕方、安全な義歯装着の方法、職員の指にかみついた時の対応方法」	32名

【行事委員会】（年4回）

新型コロナウイルス感染予防のため、めぐみ会全体で行っていた行事を中止し、北寿園独自で、三密を避けた行事を行った。また、日常のレクリエーションやお茶会等は、生活単位のユニットごとで毎月実施した。

実施日	名称	内容	備考	
1	R5.6.28	花見縁日	屋外で花を見ながらゲームを楽しんだ。	
2	R5.8.10	仮装盆踊り	利用者と職員とが仮装し、各ユニットで盆踊りを行った。	
3	R5.9.8	敬老会	施設長より花束を渡し記念撮影を行った。	長寿 4名 白寿 3名 米寿 5名 喜寿 0名
4	R5.10.12	レクリエーション大会	全館放送でユニットに居る利用者とゲームを行った。	

【排泄委員会】（年2回）

オムツの使用状況を把握し、利用者の体調や排泄状況に合わせ、使用するオムツや排泄介助時間、必要時には下剤の調整等を行い、利用者が快適に過ごせるような排泄介助の検討に努めた。オムツの見直しにもつながり、節約に繋げる事が出来た。

【給食運営会議】（毎月1回）

利用者の喫食状態の把握・確認を行い、必要に応じて食事形態の変更や献立内容の見直しを行った。栄養ケアマネジメントを行う事により栄養状態や身体機能の改善を図った。栄養ケアマネジメントの一環で利用者や家族の意向を取り入れ栄養ケア計画書を作成し、栄養状態の維持改善に努めた。

【防火防災対策委員会】（毎月1回）

安全管理体制の確立を図り、火災予防の自主点検を行った。また、災害発生時に迅

速に対応できるよう年3回の防災訓練の他、緊急連絡網運用訓練を実施した。

実施日		訓練内容
1	R5.7.20	2階ユニット個室から出火（日中想定）
2	R5.9.1	夜間、3階ユニット個室から出火。（夜間想定）
3	R5.11.16	常呂川の増水により1階が浸水の恐れがある。自然災害想定（日中想定）
4	R5.2.28	通報訓練

5.実地指導について

令和6年9月6日、オホーツク総合振興局より実施指導を受けたが、特に改善指導等は無かった。

6.苦情対応と権利擁護

利用者等からの苦情及び権利については、入所契約書に記載し、入所契約時に説明を行っている。なお、日常的に、利用者や家族とのコミュニケーションを深め利用者や家族からの意見・要望に積極的に耳を傾け、問題を共有し改善に向けて取り組むとともに、言葉遣いやケアへの姿勢のチェックを職員間で行った。

7.実習生の受け入れ・ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス、感染予防のためボランティアの受け入れができなかった。

実習生の受け入れについては、介護福祉士養成校の実習、将来の人材育成のため、受け入れを進めた。

【介護福祉士養成】

実習期間	学校名	学年	受入人数
1 R5.5.22～7.7	オホーツク社会福祉専門学校	2年次生	2名
2 R5.7.10～8.4 R5.8.10～9.8	北海道置戸高等学校	3学年	1名
3 R5.10.10～27	オホーツク社会福祉専門学校	1年次生	3名
4 R5.10.10～27	北海道置戸高等学校	2学年	1名

【日赤看護大 老年看護学実習】

実習期間	学校名	学年	受入人数
1 R5.6.26～30	日本赤十字北海道看護大学	3年次生	4名
2 R5.7.18～21	日本赤十字北海道看護大学	3年次生	4名

7.広報

「陽だまり」の発行（年3回 北見老人ホームとの共同発行）
ホームページの運用（随時更新）

8.環境整備

新型コロナウイルス、感染予防のため、全館床清掃（特別清掃）は、令和5年5月、令和6年2月に行った。全館居室燻蒸消毒は、令和5年6月6日～21日に行った。

15.職員配置

(令和5年3月31日現在)

	配 置 基準数	現 員				合 計
		正 職 員	継 続 職 員	準 職 員	臨 時 職 員	
管 理 者	1	1 兼務				1 兼務
副 管 理 者						
課 長		2				2
事 務 員		2				2
生 活 相 談 員	1	3 兼務 介護支援専門員 事務職員				3 兼務
介護支援専門員	1	3 兼務 介護職員 介護支援専門員 事務職員				3 兼務
介 護 職 員	31	38	3	3	3	47
看 護 職 員	3	3	1			4
機能訓練指導員	1	2 兼務 看護職員	1 兼務 看護職員			3 兼務
医 師					嘱託 1	嘱託 1
栄 養 士	1	2				2
用 務 員					1	1
そ の 他	—	—			パート 4	パート 4
合 計	39	47	4	3	4 パート 4 嘱託 1	58 パート 4 嘱託 1

※その他は、入浴介助(半日1名)、リネン(半日1名)、清掃等(半日2名)

【統計資料1】

○参考介護報酬単価比較

※消費増税に伴う改定

入所利用		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	旧措置Ⅰ	旧措置Ⅱ	旧措置Ⅲ
多床室	H12.4~H15.3	7,960	8,410	8,850	9,300	9,740	7,960	8,660	9,500
	H15.4~H17.9	6,770	7,480	8,180	8,890	9,590	6,770	7,850	9,240
	H17.10~H18.3	6,590	7,300	8,000	8,710	9,410	6,550	7,690	9,060
	H18.3~H19.3	6,390	7,100	7,800	8,510	9,210	6,390	7,490	8,860
ユニット	H19.3~H21.3	6,570	7,280	7,980	8,690	9,290	6,570	7,570	8,940
	H21.4~24.3	6,690	7,400	8,100	8,810	9,410	6,690	7,690	9,060
	H24.4~26.3	6,590	7,290	8,020	8,720	9,410	6,590	7,610	8,970
	※H26.4~27.3	6,630	7,330	8,070	8,770	9,470	6,630	7,660	9,020
	H27.4~30.3	6,250	6,910	7,620	8,280	8,940	6,630	7,660	9,020
	H30.4~R1.9	6,360	7,030	7,760	8,430	9,100			
	※R1.10.1~	6,380	7,050	7,780	8,460	9,130			
	R3.4~R6.3	6,520	7,200	7,930	8,620	9,290			
	R6.4~	6,700	7,400	8,150	8,860	9,550			

短期利用		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
多床室	H12.4~H15.3	9,420	9,870	10,310	10,760	11,200
	H15.4~H17.9	8,410	9,120	9,820	10,530	11,230
	H17.10~H18.3	6,890	7,600	8,300	9,010	9,710
	H18.3~H19.3	6,890	7,600	8,300	9,010	9,710
ユニット	H19.3~H21.3	7,070	7,780	8,480	9,190	9,790
	H21.4~24.3	7,210	7,920	8,620	9,330	9,930
	H24.4~26.3	7,110	7,810	8,540	9,240	9,930
	※H26.4~27.3	7,150	7,850	8,590	9,290	9,980
	H27.4~30.3	6,770	7,430	8,140	8,800	9,460
	H30.4~R1.9	6,820	7,490	8,220	8,890	9,560
	※R1.10.1~	6,840	7,510	8,240	8,920	9,590
	R3.4~R6.3	6,960	7,640	8,380	9,080	9,760
R6.4~	7,040	7,720	8,470	9,180	9,870	

1. 入居利用者の要介護度の構成

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護度
平成31年	0	2	16	45	23	86	4.04
令和2年	0	2	20	42	26	90	4.03
令和3年	0	1	24	44	20	89	3.93
令和4年	0	1	24	38	23	86	3.97
令和5年	0	1	24	40	21	86	3.95

1-2. 要介護度別利用状況(件数)

年間稼働率 95.7%

①要介護度別延べ利用者数(月請求件数)

入所	I	II	III	IV	V	計	稼働率
4月		30	720	1,154	633	2,537	94.0%
5月		31	814	1,232	565	2,642	94.7%
6月		30	799	1,248	593	2,670	98.9%
7月		31	775	1,321	628	2,755	98.7%
8月		31	775	1,330	588	2,724	97.6%
9月		30	760	1,222	555	2,567	95.1%
10月		31	806	1,238	560	2,635	94.4%
11月		30	774	1,154	615	2,573	95.3%
12月		31	790	1,195	662	2,678	96.0%
1月		31	701	1,263	682	2,677	95.9%
2月		29	717	1,209	609	2,564	98.2%
3月		31	786	1,234	651	2,702	96.8%
合計	0	366	9,217	14,800	7,341	31,724	96.3%

②要介護度別延べ利用者数

短期	I	II	III	IV	V	計	稼働率
4月	3	0	117	135	0	255	85.0%
5月	0	0	120	120	0	240	77.4%
6月	0	0	167	89	0	256	85.3%
7月	0	0	180	120	0	300	96.8%
8月	0	0	176	120	0	296	95.5%
9月	0	0	171	116	0	287	95.7%
10月	0	0	180	120	0	300	96.8%
11月	0	0	174	116	0	290	96.7%
12月	0	0	169	120	0	289	93.2%
1月	0	0	160	98	0	258	83.2%
2月	0	0	140	107	0	247	85.2%
3月	0	0	131	120	30	281	90.6%
合計	3	0	1,885	1,381	30	3,299	90.1%

2. 利用料負担の現況

住民税	負担段階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
非課税	請求数	89	89	90	90	89	91	91	89	90	89	89	89	1,075	100%
	第1段階	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.5%
	第2段階	21	22	22	22	22	21	19	17	18	16	16	16	232	21.6%
	第3段階	38	39	40	39	36	39	39	41	41	42	43	43	480	44.7%
課税	第4段階	26	24	24	25	27	27	29	27	27	27	26	26	315	29.3%
補足給付非該当	第2段階	5	5	5	6	6	6	6	7	6	6	6	6	70	※非該当の事由
	第3段階	5	4	4	4	5	5	4	3	4	4	4	4	50	・預貯金額 ・配偶者の所得
	計	10	9	9	10	11	11	10	10	10	10	10	10	120	

社福法人軽減	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	軽減金額	比率
北見市	19	20	21	20	19	21	21	20	20	19	19	19	238	4,291,410	83.1%
相模原市	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	94,376	1.8%
釧路市	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8	60,517	1.2%
北見市短期	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	2	36	718,105	13.9%
合計	22	24	25	24	25	27	26	25	25	24	23	23	293	5,164,408	100%

3. 年齢構成

(R6.3.31)

	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計	平均年齢
男	0	1	5	5	7	7	2	0	27	85歳11ヶ月
女	1	1	5	6	16	17	10	3	59	89歳8ヶ月
計	1	2	10	11	23	24	12	3	86	88歳6ヶ月

※最少年齢;69歳08ヶ月 ※最高年齢;101歳

4. 利用期間の変遷 (R6.3.31)

年度	～6ヶ月	～1年	～2年	～3年	～5年	～10年	～15年	～16年	平均在所期間	備考
31年度	13	14	14	11	9	16	8	1	3年8ヶ月	※最長15年8ヵ月
2年度	11	8	23	9	17	11	10	1	3年11ヶ月	
3年度	8	7	17	19	16	11	8	1	3年8ヶ月	
4年度	16	6	12	13	17	13	6	3	3年8ヶ月	
5年度	13	13	16	9	19	10	4	2	3年3ヶ月	

5. 入所経路別 (R6.3.31)

年度	家庭	医療機関	老人保健施設	グループホーム	養護老人ホーム	高専住宅等	特養	その他	計
31年度	35	30	9	3	5	4	0	0	86
2年度	29	38	8	4	5	5	0	1	90
3年度	26	36	9	4	4	6	0	2	87
4年度	26	35	7	3	4	11	0	0	86
5年度	26	39	4	2	2	10	0	0	83

6. 入退所状況

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
入所	3	4	1	1	1	3	2	3	3	2	1	0	24	
退所	4	0	1	1	1	4	4	2	3	0	0	4	24	死亡23名/入院退所1名/その他0名

7. 入退院日数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	帰園	死亡	退所
月内入院数	3	1	1	2	2	8	5	1	2	3	2	2	32	24名	2名	1名
入院日数	41	24	14	21	43	91	57	6	12	45	49	32	435			

8. 入院日数比較

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延入院者数	平均入院日数
31年度	28	63	44	85	140	123	78	33	42	34	73	60	803	35	22.95
2年度	92	63	106	93	29	26	39	13	3	30	52	105	651	42	15.50
3年度	95	24	9	33	78	34	99	68	52	32	22	9	555	37	15.00
4年度	8	8	16	33	38	20	17	0	51	95	37	65	388	28	13.86
5年度	41	24	14	21	43	91	57	6	12	45	49	32	435	32	13.60

9. ベッドの稼働率 (入所)

年度	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	満床	稼働率
31年度	90	2,534	2,560	2,561	2,638	2,597	2,559	2,632	2,600	2,677	2,722	2,491	2,676	31,247	32,940	94.9%
2年度	90	2,480	2,556	2,492	2,624	2,674	2,579	2,730	2,675	2,748	2,685	2,423	2,684	31,350	32,850	95.5%
3年度	90	2,586	2,683	2,616	2,718	2,666	2,596	2,646	2,605	2,733	2,712	2,430	2,717	31,708	32,850	96.6%
4年度	90	2,635	2,721	2,619	2,704	2,703	2,631	2,716	2,614	2,589	2,535	2,333	2,569	31,369	32,850	95.5%
5年度	90	2,537	2,642	2,670	2,755	2,724	2,567	2,635	2,573	2,678	2,677	2,564	2,702	31,724	32,940	96.4%

(短期)

年度	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	満床	稼働率
31年度	10	299	267	221	243	257	229	237	229	242	250	247	254	2,975	3,660	81.3%
2年度	10	214	248	251	283	273	264	253	261	268	258	236	235	3,044	3,650	83.4%
3年度	10	257	282	205	214	285	277	274	251	259	253	241	239	3,037	3,650	83.3%
4年度	10	250	289	264	217	220	262	268	250	280	299	261	298	3,158	3,650	86.6%
5年度	10	255	240	256	300	296	287	300	290	289	258	247	281	3,299	3,660	90.1%

10. 面会状況(件数)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	548	541	566	540	581	576	548	559	525	560	388	10	5,942
2年度	12	11	12	22	13	15	16	6	4	15	9	19	154
3年度	2	1	3	6	7	6	7	2	0	2	6	14	56
4年度	7	2	8	7	1	13	10	3	5	3	19	46	124
5年度	42	42	68	79	71	81	2	71	86	69	47	84	742

11. ヒヤリ・ハット(報告件数) ※皮膚のトラブルを除く

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	11	19	10	15	20	21	15	15	16	19	26	7	194
2年度	14	12	19	20	21	8	14	16	12	17	15	12	180
3年度	17	19	20	23	21	13	8	16	8	10	9	13	177
4年度	10	15	22	7	11	17	8	6	6	16	13	9	140
5年度	5	13	11	25	15	7	13	6	18	6	8	18	145

12.事故報告件数—オホーツク振興局

1 左大腿骨転子部骨折 6月2日 1人 ベッドからの転落
 2 左肩 上腕骨骨折 12月16日 1人 車椅子からの立ち上がりで転倒

13. 待機者一般状況 (令和5年3月31日現在)

①推移

	在宅	病医院	養護	ケアハウス	高下宿等	老健	療養型	GH	その他	計
男	4	24	1	0	4	4	0	2	1	40
女	20	34	2	1	5	7	0	2	0	71
合計	24	58	3	1	9	11	0	4	1	111

③性別

男	40
女	71
合計	111

④圏域別

市内	75
圏域内	34
圏域外	2
合計	111

②要介護度別

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
男	0	1	9	12	16	0	38
女	3	4	23	24	19	0	73
計	3	5	32	36	35	0	111

⑤世帯状況

	単身	夫婦	子供	その他	合計
男	20	11	10	0	41
女	31	14	25	0	70
合計	51	25	35	0	111